


温 泉 分 析 書

ホクカン 分析センター 温泉 第 0561003 号

1	申請者	(住所) 北海道旭川市高砂台8丁目235番地の1-5 (氏名) 有限会社 高砂温泉 代表取締役 高崎 重雄																																																																																																																								
2	源泉名および湧出地	高砂温泉 (源泉名) 北海道旭川市高砂台8丁目256番地の12																																																																																																																								
3	湧出地における調査および試験成績	(イ) 調査および試験者 : 株式会社 ホクカン 環境化学分析センター 谷 武 浩 (ロ) 調査および試験年月日 : 平成 17 年 4 月 18 日 (ハ) 泉 温 : 10.0 ℃ (気温 : 9 ℃) (ニ) 湧出量 : 257 ℓ/min. (動力揚湯) (ホ) 知覚的試験 : 無色澄明、微弱収斂味、微弱金気臭 (ヘ) pH 値 : 6.9 (ト) ラドン (Rn) : マッヘ単位 / kg																																																																																																																								
4	試験室における試験成績	(イ) 試験者 : 株式会社 ホクカン 環境化学分析センター 益子 美 輪 (ロ) 分析終了の年月日 : 平成 17 年 4 月 26 日 (ハ) 知覚的試験 : 黄色弱混濁、微弱金気味、弱硫化水素臭 (採水後 24時間) (ニ) 密 度 : 0.9982 (20 / 4 ℃) (ホ) pH 値 : 7.05 (ヘ) 蒸発・残留物 : 0.166 g/kg (110 ℃)																																																																																																																								
5	試料 1kg 中の成分 : 分量および組成	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(イ) 陽イオン</th> <th>ミリグラム (mg)</th> <th>ミリバル (mval)</th> <th>ミリバル% (mval%)</th> <th colspan="2">(ロ) 陰イオン</th> <th>ミリグラム (mg)</th> <th>ミリバル (mval)</th> <th>ミリバル% (mval%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン</td> <td>H⁺</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>フッ素イオン</td> <td>F⁻</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナトリウムイオン</td> <td>Na⁺</td> <td>8.8</td> <td>0.38</td> <td>11.69</td> <td>塩素イオン</td> <td>Cl⁻</td> <td>9.4</td> <td>0.27</td> <td>9.03</td> </tr> <tr> <td>カリウムイオン</td> <td>K⁺</td> <td>4.6</td> <td>0.12</td> <td>3.69</td> <td>水酸イオン</td> <td>OH⁻</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンモニウムイオン</td> <td>NH₄⁺</td> <td>0.3</td> <td>0.02</td> <td>0.62</td> <td>硫化水素イオン</td> <td>HS⁻</td> <td>0.7</td> <td>0.02</td> <td>0.67</td> </tr> <tr> <td>マグネシウムイオン</td> <td>Mg²⁺</td> <td>17.4</td> <td>1.43</td> <td>44.00</td> <td>チオ硫酸イオン</td> <td>S₂O₃²⁻</td> <td>0.0</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>カルシウムイオン</td> <td>Ca²⁺</td> <td>15.3</td> <td>0.76</td> <td>23.38</td> <td>硫酸イオン</td> <td>SO₄²⁻</td> <td>47.4</td> <td>0.99</td> <td>33.11</td> </tr> <tr> <td>アルミニウムイオン</td> <td>Al³⁺</td> <td>0.4</td> <td>0.04</td> <td>1.23</td> <td>炭酸水素イオン</td> <td>HCO₃⁻</td> <td>104.4</td> <td>1.71</td> <td>57.19</td> </tr> <tr> <td>マンガンイオン</td> <td>Mn²⁺</td> <td>0.5</td> <td>0.02</td> <td>0.62</td> <td>炭酸イオン</td> <td>CO₃²⁻</td> <td>0.1</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>第一鉄イオン</td> <td>Fe²⁺</td> <td>0.1</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二鉄イオン</td> <td>Fe³⁺</td> <td>9.0</td> <td>0.48</td> <td>14.77</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>56.4</td> <td>3.25</td> <td>100.</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>162.0</td> <td>2.99</td> <td>100.</td> </tr> </tbody> </table>	(イ) 陽イオン		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	水素イオン	H ⁺				フッ素イオン	F ⁻				ナトリウムイオン	Na ⁺	8.8	0.38	11.69	塩素イオン	Cl ⁻	9.4	0.27	9.03	カリウムイオン	K ⁺	4.6	0.12	3.69	水酸イオン	OH ⁻				アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	0.3	0.02	0.62	硫化水素イオン	HS ⁻	0.7	0.02	0.67	マグネシウムイオン	Mg ²⁺	17.4	1.43	44.00	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	0.0	0.00	0.00	カルシウムイオン	Ca ²⁺	15.3	0.76	23.38	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	47.4	0.99	33.11	アルミニウムイオン	Al ³⁺	0.4	0.04	1.23	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	104.4	1.71	57.19	マンガンイオン	Mn ²⁺	0.5	0.02	0.62	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.1	0.00	0.00	第一鉄イオン	Fe ²⁺	0.1	0.00	0.00						第二鉄イオン	Fe ³⁺	9.0	0.48	14.77						計		56.4	3.25	100.	計		162.0	2.99	100.
(イ) 陽イオン		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)																																																																																																																	
水素イオン	H ⁺				フッ素イオン	F ⁻																																																																																																																				
ナトリウムイオン	Na ⁺	8.8	0.38	11.69	塩素イオン	Cl ⁻	9.4	0.27	9.03																																																																																																																	
カリウムイオン	K ⁺	4.6	0.12	3.69	水酸イオン	OH ⁻																																																																																																																				
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	0.3	0.02	0.62	硫化水素イオン	HS ⁻	0.7	0.02	0.67																																																																																																																	
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	17.4	1.43	44.00	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	0.0	0.00	0.00																																																																																																																	
カルシウムイオン	Ca ²⁺	15.3	0.76	23.38	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	47.4	0.99	33.11																																																																																																																	
アルミニウムイオン	Al ³⁺	0.4	0.04	1.23	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	104.4	1.71	57.19																																																																																																																	
マンガンイオン	Mn ²⁺	0.5	0.02	0.62	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.1	0.00	0.00																																																																																																																	
第一鉄イオン	Fe ²⁺	0.1	0.00	0.00																																																																																																																						
第二鉄イオン	Fe ³⁺	9.0	0.48	14.77																																																																																																																						
計		56.4	3.25	100.	計		162.0	2.99	100.																																																																																																																	
	(ハ) 遊離成分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">非解離成分</th> <th>ミリグラム (mg)</th> <th>ミリモル (mmol)</th> <th colspan="2">非解離成分</th> <th>ミリグラム (mg)</th> <th>ミリモル (mmol)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタ珪酸</td> <td>H₂SiO₃</td> <td>32.3</td> <td>0.41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メタ硼酸</td> <td>HBO₂</td> <td>0.2</td> <td>0.00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>32.5</td> <td>0.41</td> </tr> </tbody> </table>	非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	メタ珪酸	H ₂ SiO ₃	32.3	0.41					メタ硼酸	HBO ₂	0.2	0.00					計				計		32.5	0.41																																																																																								
非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)																																																																																																																			
メタ珪酸	H ₂ SiO ₃	32.3	0.41																																																																																																																							
メタ硼酸	HBO ₂	0.2	0.00																																																																																																																							
計				計		32.5	0.41																																																																																																																			
	溶存物質 (ガス性のものを除く)	0.251 g/kg																																																																																																																								
	溶存ガス成分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ミリグラム (mg)</th> <th>ミリモル (mmol)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊離二酸化炭素</td> <td>CO₂</td> <td>38.0</td> <td>0.86</td> </tr> <tr> <td>遊離硫化水素</td> <td>H₂S</td> <td>1.0</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>39.0</td> <td>0.88</td> </tr> </tbody> </table>		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	遊離二酸化炭素	CO ₂	38.0	0.86	遊離硫化水素	H ₂ S	1.0	0.02	計	39.0	0.88																																																																																																										
	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)																																																																																																																								
遊離二酸化炭素	CO ₂	38.0	0.86																																																																																																																							
遊離硫化水素	H ₂ S	1.0	0.02																																																																																																																							
計	39.0	0.88																																																																																																																								
	成分総計	0.290 g/kg																																																																																																																								
	(ニ) その他微量成分	銅 : 検出せず、亜鉛 : 0.029mg/kg、カドミウム : 検出せず、鉛 : 検出せず、 総水銀 : 検出せず、フッ素 : 検出せず、総ヒ素 : 0.005mg/kg。																																																																																																																								
6	泉 質	冷鉱泉																																																																																																																								
7	禁忌症、適応症	「温泉分析書別表」中5に記載する。																																																																																																																								
平成 17 年 4 月 27 日		登録分析機関 登録番号 北海道第3号 北海道旭川市永山14条3丁目3番4号 株式会社 ホクカン 環境化学分析センター 代表取締役 木村 進																																																																																																																								



温 泉 分 析 書 別 表

1 源 泉 名 : 高 砂 温 泉	
2 源 泉 所 在 地 : 北 海 道 旭 川 市 高 砂 台 8 丁 目 2 5 6 番 地 の 1 2	
3 温 泉 分 析 申 請 者 : 北 海 道 旭 川 市 高 砂 台 8 丁 目 2 3 5 番 地 の 1 - 5 有 限 会 社 高 砂 温 泉 代 表 取 締 役 高 崎 重 雄	
4 泉 質 : 冷 鉱 泉	
5 療 養 泉 分 類 の 泉 質 に 基 づ く 禁 忌 症 、 適 応 症 は 次 の と お り で あ る 。	
浴 用	禁 忌 症 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）。
	適 応 症
飲 用	禁 忌 症
	適 応 症
浴 用 、 飲 用 の 一 般 的 注 意 事 項	<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、慣れるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守りこと。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴（42℃以上）を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起し易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p>
<p>平成 17 年 5 月 10 日</p> <p style="text-align: right;">決定者 北海道立衛生研究所長 本 間 寛</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	